

はじめに

「動物看護業務における診療補助に必要な技術」についての基礎知識では、愛玩動物看護師が安全かつ効果的なケアを提供し、動物の健康と幸福を維持するために必要不可欠な情報をお伝えします。大枠の内容は以下8項目で、このなかには技術や理論が含まれます。

✓ 動物の生理学と解剖学の知識

動物の体の構造と機能についての基本的な理解が必要となります。

✓ 疾病と病気の管理と知識

動物の疾患や感染症、栄養、外傷などに対する適切な処置や管理方法を学ぶことが必要です。このなかには健康管理も含まれるため、正常（健康）時の状態をあらかじめ把握し、比較できる知識と理解が大切です。

✓ 薬物の管理

適切な薬物や薬理学についての理解が重要です。薬物の投与量、副作用、相互作用などについての知識が必要です。

✓ 予防医学

病気にならないための知識として、栄養学、運動の必要性を軸にワクチン、寄生虫、公衆衛生、生活環境など、動物の健康を維持するための予防策について学びます。

✓ 応急処置と救急医療

動物の救急処置や緊急時の対応についての訓練が必要です。出血の止め方や心肺蘇生法など基本的な応急処置の技術を学び、流れを知っておくことは緊急時における獣医師とのスムーズな連携に必要不可欠です。

✓ 行動学

医療的知識と技術だけではなく動物の行動の理解も必要です。動物の行動や表現を読み取り、ストレスや不安を軽減するための対応を学びます。動物種やブリード別に本能的な行動の基礎知識をもつことも重要となります。

※実際の内容と異なる場合があります

執筆者



Abe Satomi
安部 里梅

愛玩動物看護師 / 動物取扱責任者

PET CARE HOME Lyuca 代表
一般社団法人どうぶつ予防医療協会アドバイザー

■ 認定資格
動物取扱責任者
ペットフード販売士

アニマルヘルパー講座修了

